

一 学校運営

1 教育理念

(1) 長丘小学校における学校教育の使命

学校のめざす子ども像

「ひとりだち(自立・自律)のできる子ども」

長丘地域の願い

地域ぐるみの人育て「長丘教育」(生涯学習)の活性化

地域の自然・歴史・文化 及び、建設的で先賢の精神と人情豊かな地域の人々とふれあい、
“人が育ちあう地域作り”に関わることを通し、ふるさと長丘のよさを感じ、郷土愛や誇りを
もち、自己のあり方や生き方を拓いていく。

「学校教育」が「長丘教育」に果たす役割

「自ら拓く力」をつける

児童に対して

- ・自ら、人・もの・こと・自然・社会・文化と関わりを深め、課題を追究する姿勢づくり
- ・様々な生活・学習場面で課題解決を図っていく実践力(基礎基本の確実な定着)
- ・個々の違い・個性的なよさを尊重、かけがえのない自他の存在を自覚し他を思いやる心や美しいものに感動する心を持ち、自分の可能性やよさを磨こうとする前向きな生き方、長丘のよさを知り長丘を愛する心や長丘をよりよくしようとする心情

教職員

- ・子どもが共に追究を深める学習の成立と、子ども理解にたった学習研究・研修
- ・学校教育目標に迫るための自己課題を追究し、自己研鑽し、学びあう職員集団

保護者

- ・人育ての基礎、家庭の教育力向上...基本的な生活習慣(挨拶・食事・排泄・準備場を整えること、コミュニケーション、メディアコントロール)
- ・協働する家庭生活(役割と居場所作り・手伝い、家庭学習の支援、家庭読書等、地域行事や地域生活への参画支援)

P T A

- ・私の子から私たち(我々)の子へ

地域

- ・地域ぐるみの人育て「長丘教育」の活用化(学校地域の連携)

(2) 学校教育目標

本気で考える子ども
思いやりのある子ども
粘り強くやり抜く子ども

本気で考える子ども

一人ひとりが、自分は何を為すべきか、自分で考え実践できる子ども

- ・自分の頭で考え、自分の言葉で話し、自分の力で解決しようとする学習の充実
- ・生活の中から課題を見つけ、自分の手足五感を通した体験学習の重視

思いやりのある子ども

一人ひとりが、相手の立場に立って考えられる人間性豊かな子ども

- ・相手の立場に立って考え、人の心の痛みが分かる行為の実践
- ・自分も人も共にかけがえのない存在であることの実感を身につける言動の実践
- ・人の役に立つことや貢献することに喜びを感じ、支え合い力を尽くしていく生活の創造

粘り強くやり抜く子ども

たくましい心と体を培う子ども

- ・自らめあてをもって挑み続け、苦しさや挫折を乗り越えるしなやかな心と体作り
- ・日々、自分にあった運動の継続的な実践

(3) 教育課題 (子どもたちの育ちとさらに伸ばしたい姿 H28.2.8 ワークショップ より)

児童の行動を、見守り・受け止め・判断させ・ほめて、安心して生活したり、学び合ったりする教師の立ち位置

聴く・つなぐ・もどすことを大切にを進める学び合い学習の充実

思考力の基である言語力の育成

あいさつ運動や長丘学習などをおし、体を動かし・心を動かし・自分の頭で考える子どもの育成 (地域や保護者とともに)

3年後の統合への準備

(4) 平成29年度の指導の重点

聴く つなぐ もどす 対応をします

考える時間・自分の考えを書く時間を大切にします

体験学習をすすめます

(5) 児童の行動のめあて

1 よく聴き よく考える

2 ふわふわことばをつかう

3 すすんで あいさつする